**平成30年度関東甲信越静地区高等学校国際教育研究協議会**

**事務局長会議および研究協議会 資料**

日時：　平成31年１月18日（金）　　午前10時から午後4時（受付9時30分～）

場所：　東京都立新宿山吹高等学校　１階　ガイダンス室

〒162-8612　東京都新宿区山吹町81番地　　Tel: 03-5261-9771

出席者(敬称略)：事務局持ち回りの順に列記

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 都・県名 | 学校名 | 職名 | 事務局長名 | 出欠 |
| 神奈川県 | 神奈川県立磯子高等学校 | 教諭 | 小野　行雄 | 出 |
| 埼玉県 | 埼玉県立和光国際高等学校 | 教諭 | 瀧嶋　明康 | 出 |
| 千葉県 | 千葉県立流山高等学校千葉県柏市立柏高等学校 | 校長教諭 | 和田　哲也（AM）玉置　瞬（PM） | 出 |
| 茨城県 | 茨城県立江戸崎総合高等学校 | 教諭 | 大室 真由美 | 欠 |
| 栃木県 | 栃木県立宇都宮北高等学校 | 教諭 | 志村　千晴 | 出PM |
| 群馬県 | 群馬県立桐生女子高等学校 | 教諭 | 阿久津　忍 | 欠 |
| 長野県 | 長野県立佐久平総合技術高等学校 | 教諭 | 萩原　正道 | 出 |
| 山梨県 | 山梨県立農林高等学校 | 教諭 | 宮澤　芳美 | 欠 |
| 静岡県 | 静岡県立吉原高等学校 | 教諭 | 中田　貴之 | 休会 |
| 東京都 | 東京都立練馬工業高等学校 | 教諭 | 小林　源地 | 出 |
| 新潟県 | 未成立 |  |  |  |
| 全国事務局 | 東京都立永山高等学校 | 教諭 | 高島　みゆき | 欠 |
| 東京都（会長） | 東京都立五日市高等学校 | 校長 | 大泉　昌明 | 欠 |
| 東京都（監事） | 東京都立新宿山吹高等学校 | 校長 | 梶山　隆 | 出 |
| 東京都（事務局） | 東京都立五日市高等学校 | 教諭　 | 中村　俊佑 | 出 |
| 東京都（事務局） | 東京都立新宿山吹高等学校 | 教諭 | 竹山　哲司 | 出 |

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　出席　９名

次第：

１　開会挨拶　　会長　大泉　昌明（東京都立五日市高等学校長）

　　　　　　　 　監事　梶山　隆　（東京都立新宿山吹高等学校長）

２　研究協議会（10：00～12：15）

　　講師；　石川　幸子さま（獨協大学・JICA専門員）

３　議　　事　(13：00～16：00)

（１）平成30年度事業中間報告　　　　　　　　　　　　　　　資料１　13：00～13：30

（２）平成30年度会計中間報告　　　　　　　　　　　　　　　資料２ 13：30～14：00

（３）平成30年度各都県活動状況報告　　　　　　　　　　　　資料３ 14：00～15：00

（４）関東甲信越静地区弁論大会の運営についての検討事項　　 資料４ 15：10～15：30

1. 全国国際教育研究協議会事務局より　　　　　　　　　　資料５　15：30～15：50
2. その他、諸連絡

３　閉会挨拶

１　資料１ 平成30年度事業中間報告

1. 関東甲信越静地区理事会（於：JICA地球ひろば）　平成30年５月24日（木）

ア　平成29年度事業報告

イ　平成29年度決算報告

ウ　平成30年度役員の選出について

エ　平成30年度事業計画案について

オ　平成30年度予算案について

カ　平成30年度英語弁論大会・日本語弁論大会・国際理解研究発表大会について

1. 関東甲信越静地区高校生英語・日本語弁論大会・国際理解研究発表大会　平成30年6月30日（土）

〔審査員〕 東京都教職員研修センター研修部教育開発課　指導主事　　市川　拓治　先生

　　　　　　日本外国語専門学校　国際関係学科　　　　　　　　　　　Darren 　Craig　先生

東京都立五日市高等学校　　　　　　　　　　校長　　　　大泉　昌明　先生

　　　　　　　　 　多摩大学附属聖ヶ丘中学校・高等学校　　　　教諭　　　　藤沼　隆一　先生

　　　　　　　　　　東京都立山崎高等学校　　　　　　　　　　　主幹教諭　　太田　進　先生

ア　英語弁論大会　　９名出場　上位２名が全国大会（東京大会）出場

第１位 東京都　東京都立本所高等学校　　井上　奈欧美　(文部科学大臣賞）

表題　　「Embracing Differences」

第2位　栃木県　佐野日本大学中等教育学校　渡邉カラナアッタナヤカ　（JICA理事長賞）

表題　　「My View of Happiness」

イ　日本語弁論大会　　８名出場　上位２名が全国大会（東京大会）出場、1名が繰り上げ出場

第１位 千葉県 柏市立柏高等学校　于名月（ユ ミンユエ）　（外務大臣賞）

表題　　「見えない言葉の壁」

第２位　東京都　関東国際高等学校　唐　佳雯（タン　チャウン）　（JICE理事長賞）

表題　　「礼儀は私の人間関係の救世主」

　　　　第３位　埼玉県　埼玉県立蕨高等学校　江　娉（コウ　ヒン）

　　　　　　　　表題　　「違いを認めることの大切さ」

　　　　第４位　山梨県　山梨英和高等学校　チェ・ミナ　　（JICA理事長賞）

　　　　　　　　　　　　表題　　「古い壁を越えよう」

ウ　国際理解研究発表 １名出場

第１位　千葉県　敬愛学園高等学校　　齋藤　建人　　表題「マイ・ヒーロー革命」

(3)　事務局長会議　　平成31年１月18日（金）13：30～16：00　東京都立新宿山吹高等学校にて

２　資料２　平成30年度会計中間報告　　別紙

３　資料３　平成30年度各都県活動報告書　　別紙

４　資料４　　関東甲信越静地区弁論大会運営について

　**昨年度までの確認事項**（関東甲信越静地区大会エントリー資料ＤＶＤについて）

1. 各都県大会終了後、各出場校で撮り直し、関東甲信越静地区大会エントリー資料とする。（さらに徹底）

上記内容提案理由 ：事務局で機材等準備できる会場（学校）と、これが難しい会場がある。

地区大会後ブロック大会まで、半年近く時間が空く県がある。

運動部でも、上位大会に出場する際には更なる練習を重ねている。

1. DVDでの発表を行う前に、必ず学校名・氏名・弁論テーマを述べる。（さらに徹底）
2. 審査にあたっては、在外経験の有無や英語の技術等は問わない。弁論内容を問うものとする。

　　検討事項①　関東甲信越静地区大会のためのＤＶＤ撮影及び編集について（地区事務局より提案）：

1. ＤＶＤ編集を行わず、発表原稿をメールで各都県事務局に送る。(平成28年度から実施済)
2. **音声の録音は、映像の録画と同時に行うこととする。**
3. **撮影後のＤＶＤは、市販されている複数の機種で再生できることを、必ず確認する。**（平成29年度は、1枚だけ他の機材で再生せざるを得なかった。平成30年度は、途中で動かなくなり後半の2分間程度は動画がないものが1枚、複数の機種でも再生が不調で何度も一時中断したものが1枚あった。）
4. **上半身のみ**というのは曖昧であるので、**要検討**。

⇒　「胸より上」と定め、イラストなどを添付してよりわかりやすくする。

1. ＤＶＤは、**形式**で保存する。

　　検討事項②　弁論大会の審査員について（地区事務局より確認）

1. 地区事務局（開催都県事務局）が委嘱する。
2. 審査員への謝礼(薄謝)・交通費は、地区事務局が負担する。

　　　平成30年度実績　 ◎専門学校の講師；東京都事務局との連携のため、交通費程度を支給

　　　　　　　　　　　　◎教委の指導主事；出張扱いとし、謝金・交通費とも支給せず

◎高校の教員；東京大会準備に関わる研究協議を同日に行い、出張で参加

５　資料５　全国国際教育研究協議会事務局より　（別紙あり）

ア　平成３１年度　全国総会

日時：平成31（2019）年５月23日（木）

　　　関東甲信越静地区総会　１３：３０～１４：２０　（SR203）

全国総会　　　　　　　１４：３０～１６：３０　（SR202AB）

会場：JICA地球ひろば

JR総武線、東京メトロ線　 市ケ谷駅より徒歩１０分　（JASSO本部、大日本印刷の隣）

（交通の便はよいですが、市ヶ谷駅から急な佐内坂を上ります。）

イ　第５６回全国国際教育研究大会　奈良大会

日時：平成31（2019）年８月８日（木）、９日（金）

会場：奈良県文化会館（近鉄奈良駅と奈良県庁の間）

ウ　全国理事会

　　日時：平成31年2月16日(土)

会場：東京都立竹早高等学校

６　その他

1. 来年度の関東甲信越静地区大会（弁論大会等）について

日時；平成31（2019）年　7月上旬

会場；神奈川県

申込締切；　６月　　日（　）必着

1. 事務局都県順申し合わせ

・平成14年総会了承事項　　（近隣都県で反時計回り）

　 栃木県　　→　　 群馬県　　→ 　新潟県　→　　長野県　　　→　　山梨県　　→　 静岡県

　 H19年度　　 　　 H21年度　　　　　　　　　　　H23年度　　 　 H25年度　　 　 H27年度

 H20年度　　　　 H22年度　　　　　　　　　　　H24年度　　 　 H26年度　　 　　H28年度

→　 東京都　　 →　　**神奈川県**　 →　　埼玉県　 →　 千葉県　　→　　 茨城県 → 栃木県

　　　H29年度　　 　　**H31年度**  　 H33年度 H35年度 　 H37年度 H39年度

 H30年度 　 **H32年度** 　 H34年度 H36年度 　 H38年度 H40年度

・平成19年5月理事会了承事項

平成19年度現在、新潟県事務局はあるが活動はしていないため、新潟県を飛ばし長野県が行う。

・平成25年5月理事会、平成26年1月事務局長会議でも確認済み。

　(3)